

日本医用画像工学会 2015 年度総会 議事録

会 期：2015 年 7 月 31 日（金） 13:45～14:45

会 場：金沢歌劇座 A 会場

出席者：出席 46 名 委任状 65 名

議事：1. 縄野会長より開会のご挨拶があった

2. 出席 46 名、委任状 65 名の合計 111 名で総会が成立することが確認された

3. 恒例により異議なく縄野会長に議長が一任された。

4. 審議事項

(1) 2014 年度事業報告および 2015 年度事業計画

1) 大会関係について東木担当常任幹事より報告され、承認された。

2) 学術・渉外について湯浅担当常任幹事・清水担当常任幹事より報告され、承認された。

3) 編集委員会について工藤委員長より報告され、承認された。

4) 広報委員会について上村副委員長より報告され、承認された。

5) CAD 委員会について長谷川委員長より報告され、承認された。

6) 研究会について平野研究会会長より報告され、承認された。

7) 教育委員会について佐藤委員長より報告され、承認された。

(2) 2014 年度決算報告

1) 2014 年度決算報告について細羽担当常任幹事より報告され、承認された。

2) 2014 年度決算報告会計監査報告について石垣監事より報告され、承認された。

(3) 2015 年度予算案について細羽担当常任幹事より報告され、承認された。

(4) 年会費の値上げに関する提案について細羽担当常任幹事より報告され、承認された。

(5) 役員人事について東木担当常任幹事より報告され、承認された。

(6) 定款附則の変更について東木担当常任幹事より報告され、承認された。

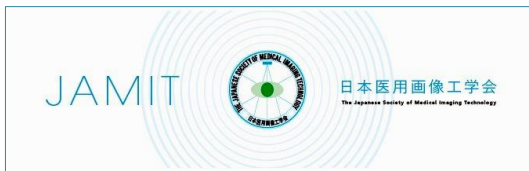
- (7) 寄附金規程の制定について東木担当常任幹事より報告され、承認された。

5. 報告事項

- (1) 第33回大会『大会奨励賞』の受賞者の紹介がされた。
また、2014年度MIT誌論文賞の受賞者が紹介され、授賞式は今年度についてのみ11月の常任幹事会で実施することが報告された。
- (2) 田中栄一賞の設置について、縄野会長より報告された。
元浜松ホトニクス株式会社、放射線医学総合研究所・名誉研究員田中栄一先生よりご挨拶をいただいた。
- (3) 第35回大会について羽石大会長（千葉大学）よりご挨拶があった。
6. 縄野会長より閉会のご挨拶があった。

以上

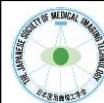
第34回日本医用画像工学会総会 (JAMIT2015)



進行次第

1. 開会の辞
2. 審議事項
 - (1) 2014年度事業報告および2015年度事業計画
 - (2) 2014年度決算報告および会計監査報告
 - (3) 2015年度予算案
 - (4) 役員人事、他
3. 第33回大会「大会奨励賞」授賞者報告
4. 2014年度MIT誌「論文賞」授賞者報告
5. 田中栄一賞について
6. 第35回大会長の挨拶
7. 閉会の辞

次回第35回大会(JAMIT2016) 7月21~23日 羽石秀昭大会長 於千葉大学



事業報告および事業計画：大会関係

・2014年度報告

第33回大会を、福田国彦大会長（東京慈恵会医科大学）のもとに、東京慈恵会医科大学にて開催した。
(8月1日~3日/参加者数：229名・演題数：92)

・2015年度報告

第34回大会を、真田茂大会長（金沢大学）のもとに、金沢歌劇座にて開催する。
(7月30日~8月1日)

・2016年度予定

第35回大会を、羽石秀昭大会長（千葉大学）のもとに、千葉大学にて開催する。(7月21日~23日)

2



事業報告および事業計画：学術・渉外 連合フォーラム活動等

2014年度活動報告

1. International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA) 2015開催 (IWAIT共同開催)
 - ・ 期日： 2015年1月12日(月), 13日(火)
 - ・ 場所： 台湾成功大学(台南)
 - ・ 演題数： 65件(Keynote Lecture 2件, 一般 63件 [日 43, 台 12, 韓 7, 中 1])
2. JAMIT Frontier 2015 (メディカルイメージング連合フォーラム) を開催 (電子情報通信学会MI研, 医用画像情報学会, 日本写真学会, 日本生体医工学学会共同開催) (電子情報通信学会SIP研究会, EA研究会, SP研究会との併催)
 - ・ 期日： 2015年3月2日(月), 3日(火)
 - ・ 場所： 石垣島 ホテルミヤヒラ
 - ・ 演題数： 67件(JAMIT特別講演 1件, フェロ-記念講演 2件, 一般 64件)

2015年度活動計画

1. JAMIT Frontier 2016 を那覇市で開催予定
 - ・ 期日： 2016年1月19日(火), 20日(水)
 - ・ 場所： 那覇市ぶんかテンプス館

3



2015年活動計画 学術・渉外

IJCARS JAMIT2015&2016大会特集



IF=1.707



2015年活動計画 学術・渉外

IJCARS JAMIT2015&2016大会特集 Important dates

- 2015年9月中旬
 - JAMIT2015からIJCARS特集用論文を推薦 (※奨励賞+aから選択)
- 2016年3月中旬
 - JAMIT2016 (※ 7/21-23) の通常の申し込みと同じ日程で、題目、アブストラクトを応募。ただし、IJCARS特集希望の有無をチェック
- 2016年5月中旬
 - IJCARS希望者はExtended Abstract (※和文推奨) をJAMITに提出
- 2016年6月中旬
 - (positive) Prescreening用論文を提出 (※原則IJCARS希望者全員)
- 2016年8月中旬
 - IJCARS投稿締切 (※査読プロセスは通常と同じ)
- 2017年2月中旬
 - Online First掲載

※予定は変更の可能性があります
※HP等で最新情報をご確認ください



編集委員会2014年度活動報告

1 / 2



(1) 雑誌の発行

Vol.32, No.4 『特集：CTの被曝低減化+一般』
Vol.32, No.5 『JAMIT2014大会査読付き論文特集』
Vol.33, No.1 『特集：脳を対象とした縦断的画像の利用』
Vol.33, No.2 『一般』
Vol.33, No.3 『特集：バイオイメージング+一般』

(2) 原著論文投稿・掲載状況 (Vol.32, No.4~Vol.33, No.3)

投稿数 (2013年28件 -> 2014年21件)
掲載数 (2013年16件 -> 2014年12件)

(3) メディカルオンラインによる論文公開

MIT誌の論文が読まれる機会を増加させる方策として、(株)メテオと契約して『メディカルオンライン』による論文公開を2015年1月から開始した。

(4) その他

『講座：三次元データのモデリングと可視化技術の基礎と最前線』企画, JAMIT e-ニュースレターへの論文アブストラクト掲載, 論文賞選考, 他

6



編集委員会2015年度活動予定

2 / 2

(1) 雑誌の発行

Vol.33, No.4 『特集：レギュラトリーサイエンス+一般』
Vol.33, No.5 『JAMIT2015大会査読付き論文特集』
Vol.34, No.1 『特集：認知症最前線+一般』
Vol.34, No.2 『特集：がんの先制医療のための画像診断技術+一般』
Vol.34, No.3 『特集：多元計算解剖学+一般』

(2) 雑誌改善の検討

原著論文数を増やす方策、新企画(サーベイ論文、書評)の実施、雑誌の評価を高める方策(PubMedへのアブストラクト掲載など)、非会員への論文公開の検討(無料、有料)

論文投稿のお誘い

最近、大会査読付き論文制度以外の原著論文投稿数が減少してきており、皆様方の積極的な研究成果の投稿をお願いします。

7



活動報告および活動計画：広報委員会

1/7

・ 広報委員会について

- 2014/7総会承認
 - ・ 広報委員長を安藤裕先生(放医研)より山谷泰賢(放医研)が引きつぐ(副委員長は上村幸司(香川大学))
 - ・ 広報委員会は一旦解散。再度組織することに。
- 2014/11常任幹事会承認
 - ・ 広報委員3名委嘱
- 現在の広報委員会(敬称略、50音順)

委員長	山谷泰賢 放射線医学総合研究所 (PET工学)
副委員長	上村幸司 香川大学 (医療情報工学)
委員	北坂孝幸 愛知工業大 (CAD工学)
	菅 幹生 千葉大学 (MRI工学)
	福田国彦 東京慈恵会医科大学 (画像診断)

8



活動報告および活動計画：広報委員会

2/7

・ 2014年度事業報告

- メールマガジンの発行（2014/7～2015/6 40通）
 - ・ 3月末まで jamit-announce-manager@jamit.quantum-inc.jp
 - ・ 4月より jamit-announce@may-pro.net
- ホームページの整備（http://www.jamit.jp）
 - ・ 10月まで暫定サーバ
http://www.jamit.co.jp
 - ・ 10月から
（株）シロクロに管理委託
 - ・ 4月以降
（株）メイプロジェクトに管理委託



9



活動報告および活動計画：広報委員会

3/7

・ eNews Letter

- CADMと合併した際に、CADMから継承した経緯。役割を見直す時期。
- 非会員でも見れる特徴を活かし、JAMITの発展に貢献することを主目的として、当面は試行。
- 記事方針
 - ・ プッシュアプローチ：JAMIT会員の研究成果や知見等を、会員同士だけでなくJAMIT外部への発信も意識した記事。
 - ・プルアプローチ：JAMIT分野外部からの技術や知見をJAMITへ持ち込むことによって、新しい展開が期待できるような記事。
- 今年度実績
 - ・ No.19 2014年12月 通算No.73
 - ・ No.20 2015年04月 通算No.74
 - ・ No.21 2015年07月 通算No.75



10



活動報告および活動計画：広報委員会

4/7

eNews Letter No.19 2014年12月 通算No.73

- ・ 特集「JAMIT2014 大会後記」
 - 第 33 回日本医用画像工学会大会を振り返って
福田 国彦（東京慈恵会医科大学放射線医学講座）
- ・ 特集「JAMIT コンテスト報告」
 - 第 6 回JAMIT CAD コンテスト結果報告
北坂 孝幸（愛知工業大学情報科学部）
- ・ 特集「IEEE NSS-MIC 参加報告」
 - IEEE NSS-MIC が面白い！
山谷 泰賢（放射線医学総合研究所）
- ・ お知らせ
 - 医用画像データベース
清水 昭伸（東京農工大学大学院共生科学技術研究院）

11



活動報告および活動計画：広報委員会

5/7

eNews Letter No.20 2015年04月 通算No.74

- ・ 特集「JAMIT はどんな学会？」
 - Medical Imaging Technology 誌の出版意義再考と近況報告
工藤 博幸（筑波大学システム情報系）
- ・ 特集「JAMIT 大会開催告知」
 - 第 34 回日本医用画像工学会大会の開催に向けて
真田 茂（金沢大学医薬保健研究域保健学系）
- ・ 特集「JAMIT FRONTIER 大会後記」
 - JAMIT FRONTIER 大会後記
湯浅 哲也（山形大学大学院理工学研究科）
- ・ お知らせ
 - 医用画像データベース
清水 昭伸（東京農工大学大学院共生科学技術研究院）

12



活動報告および活動計画：広報委員会

6/7

eNews Letter No.21 2015年07月 通算No.75

- 特集「JAMIT 大会開催告知」
 - JAMIT 2015 特別講演および教育講演の要旨
清水 昭伸 (東京農工大学大学院工学研究院)
- 特集「JAMIT はどんな学会？」
 - MIT誌アブストラクト紹介
工藤 博幸 (筑波大学システム情報系)
- 特集「Fully 3D 参加報告」
 - Fully 3D 参加報告
田島 英朗 (放射線医学総合研究所)
- お知らせ
 - 医用画像データベース
清水 昭伸 (東京農工大学大学院共生科学技術研究院)

13



活動報告および活動計画：広報委員会

7/7

• 次年度事業計画

- メールマガジンの発行
- ホームページの更新
- eNews Letterの企画・発行
 - No.22 2015年12月 通算No.76
 - No.23 2016年04月 通算No.77
 - No.24 2016年07月 通算No.78
- 広報委員の拡充

14



活動報告および活動計画：CAD委員会

1/2

2014年度活動報告

•CADコンテスト (第6回) の開催

日程： 2014年7月24日, 25日
 場所： 東京慈恵会医科大学 (東京都港区) ※第33回大会々場
 課題： 3次元腹部CT像への肝腫瘍の埋め込み
 参加施設数： 7施設
 成績： 1位 神奈川工大, 2位 岐阜大, 3位 みずほ情報総研

•CAD勉強会の開催

第15回： 2014年 4月20日 @名大 (コンテスト説明会)
 第16回： 2014年 6月 8日 @名大 (準備状況報告会)
 第17回： 2014年11月1日 @名大 (コンテスト反省会)

•画像データベースの販売

販売件数：計8件 (総額 15万円)
 (内訳：マンモ (2), 間接胸部X線 (1), 腹部CTVol.1,2 (2),
 腹部CTVol.3 (3))

15



活動報告および活動計画：CAD委員会

2/2

2015年度活動計画

•CADコンテスト (第7回) の開催

課題： 3次元腹部CT像への肝腫瘍の埋め込み (※前回と同テーマ)
 日程： 2015年4月30日 参加申込期限
 2015年5月29日 処理結果提出期限
 2015年6月～7月 評価作業 (医師・技師約10名による)
 2015年7月31日 結果発表 ※第34回大会々場 (金沢市) にて

•CAD勉強会の開催

第18回 2015年4月25日 (土) @名大 (コンテスト説明会)
 第19回 秋頃を予定 (コンテスト反省会)

•画像データベースの販売と新規開発

既存DB (6種) の販売
 新規DB (腹部CT像シリーズ) の開発と販売

16



オープンディクショナリ研究会報告

設置期間：

平成25年度～平成27年度（3年間）

（平成25年総会の翌日～平成28年総会の開催日）

研究会会長：

平野靖（山口大学）

実施内容：

- 医用画像工学分野における基礎知識の共有を目的とした用語集の作成
 - ✓ 平成25年度に選定した用語に対する解説の執筆
 - ✓ 用語の追加

19



活動報告：教育委員会 1/2

・ 2014年度活動報告

－ チュートリアル講演会の開催

- ・ 開催日：2014年7月24日（木）
- ・ 場所：東京慈恵会医科大学（東京都港区） ※第33回大会会場
- ・ テーマ：核医学
 1. 核医学検査：SPECT（市原隆）
 2. 核医学検査：PET（北村圭司）
 3. 研究放談 — エlegantな解答（田中栄一）
（講演映像の販売予定は無し）

18



活動計画：教育委員会 2/2

・ 2015年度活動計画（総会時には実施済）

－ チュートリアル講演会の開催

- ・ 開催日：2015年7月30日（木）
- ・ 場所：金沢歌劇座 ※第34回大会会場
- ・ テーマ：デジタルラジカグラフィ(DR)の黎明期から未来
 1. CR開発と今後の展望
加藤久豊（元富士フイルム株式会社）
 2. FPD誕生とその後の展開
井上仁司（株式会社キナノ）
 3. CR、臨床の洗礼を受ける
船橋正夫（大阪府立急性期・総合医療センター）
 4. DRが臨床にもたらしたもの
－デジタル画像処理技術の胸部画像診断への応用
佐々木康夫（岩手県中央病院）

19



2014年度決算 収入


2014年4月1日から2015年3月31日まで

I. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 正会員費	3,215,000	2,925,000	△ 290,000	@1,000x13 入会金 @8,000x363 年間費
2. 学生会員費	300,000	276,000	△ 24,000	@3,000x92
3. 賛助会員費	1,680,000	1,520,000	△ 160,000	@80,000x19口
4. 図書会員費	300,000	320,000	20,000	@10,000x4口 @20,000x13口
5. 会誌広告料	0	0	0	
6. 会誌別刷代	1,500,000	1,773,275	273,275	
7. 大会事業収入	3,110,000	4,048,332	938,332	支出=4,037,854
8. CAD DB	400,000	150,000	△ 250,000	
9. ハンドブック販売収入	2,400,000	324,000	△ 2,076,000	
10. 教育事業収入	100,000	15,750	△ 84,250	
11. 雑収入	0	402,699	402,699	委員会補助費の返却
当期収入合計 (A)	13,005,000	11,755,056	△ 1,249,944	
前年度繰越金	6,794,415	6,794,415		定期預金含む
収入合計 (B)	19,799,415	18,549,471		


20



2014年度決算 支出


II. 支出の部 (単位:円)


科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会誌発行費 5回 31 巻3,4,5号,32 巻1,2号	4,200,000	3,382,697	△ 817,303	ニュースレター含む
2. 大会事業費 1回	3,110,000	4,037,854	927,854	収入=4,048,332
3. 表彰費	130,000	151,632	21,632	
委員会議費	50,000	0	△ 50,000	
4. CAD委員会関連費	50,000	0	△ 50,000	
5. JAMIT FRONTIER大会補助費	100,000	80,432	△ 19,568	
6. オープンディクショナリ研究会補助費	100,000	100,432	432	
7. ハンドブック販売費	600,000	69,000	△ 531,000	HP改訂の特別コストゼロ
8. 教育事業費	400,000	0	△ 400,000	
幹事会・常任幹事会・事務費	100,000	115,139	15,139	
9. 会議費	700,000	709,396	9,396	
10. 旅費交通費	1,150,000	511,344	△ 638,656	
11. 広報関係費	960,000	746,064	△ 213,936	
12. 事務局費	30,000	0	△ 30,000	
13. 備品・消耗品	50,000	119,124	69,124	
14. 印刷費	100,000	113,609	13,609	
15. 通信費	50,000	14,659	△ 35,341	
16. 雑費				
当期支出合計 (C)	11,830,000	10,151,382	△ 1,678,618	
当期収支差額 (A-C)	1,175,000	1,603,674	428,674	
次期繰越収支差額 (B-C)	7,969,415	8,398,089	428,674	
支出合計	19,799,415	18,549,471	△ 1,249,944	21




日本医用画像工学会 殿

日本医用画像工学会の平成 26 年度の決算報告書(案)を監査の結果、内容に相違ないことをここに承認致します。

2015年4月16日 監事 石垣武男 

2015年4月16日 監事 今村裕之 

22



2015年度予算 収入

2015年4月1日から2016年3月31日まで

I. 収入の部 (単位:円)

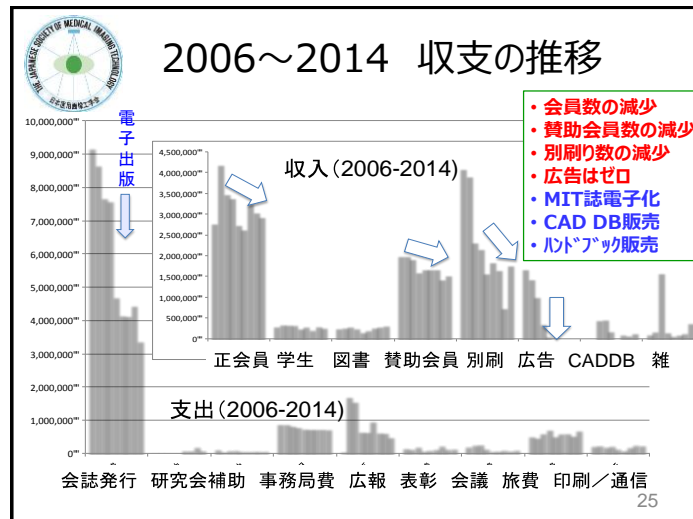
科目	15予算額	14予算額	備考
1. 正会員費	2,900,000	3,215,000	@1000x20 入会金 @8000x360 年間費
2. 学生会員費	270,000	300,000	@3000x90
3. 賛助会員費	1,520,000	1,680,000	@80,000x19口
4. 図書会員費	300,000	300,000	@10000x4口 @20000x13口
5. 会誌広告収入	0	0	
6. 会誌別刷代収入	1,200,000	1,500,000	
7. 大会事業収入	3,700,000	3,110,000	大会事業支出と同額
8. 教育事業収入	0	400,000	
9. ハンドブック販売収入	162,000	2,400,000	ハンドブック発売 20部
10. CAD DB 販売収入	150,000	400,000	新しいDBの発売
11. 雑収入	20,000	100,000	
12. 雑益		0	
当期収入合計 (A)	10,222,000	13,405,000	
前年度繰越金	8,379,089	7,222,798	
収入合計 (B)	18,601,089	20,627,798	23



2015年度予算 支出

II. 支出の部 (単位:円)

科目	15予算額	14予算額	備考
1. 会誌発行費 5回 32 巻3,4,5号,33 巻1,2号	4,300,000	4,200,000	ニュースレター含む
2. 大会事業費 1回	3,700,000	3,110,000	大会事業収入支出と同額
3. 表彰費	150,000	130,000	
4. JAMIT FRONTIER大会補助費	100,000	100,000	
5. オープンディクショナリ研究会補助費	100,000	100,000	
6. ハンドブック制作費	40,000	600,000	ハンドブック発売 20部
7. 教育事業費	0	400,000	
8. CAD DB 制作費	50,000	0	新規DB制作費用
9. 会議費	100,000	100,000	
10. 旅費交通費	700,000	700,000	
11. 広報関係費	800,000	1,150,000	388,800はホームページ固定維持費 +バックナンバーのJSTAGE 移行費用
12. 事務局費	1,080,000	960,000	
13. 備品・消耗品	10,000	30,000	
14. 印刷費	70,000	50,000	
15. 通信費	110,000	100,000	
16. 雑費	50,000	50,000	
当期支出合計 (C)	11,360,000	11,780,000	
当期収支差額 (A-C)	△ 1,138,000	1,625,000	
次期繰越収支差額 (B-C)	7,241,089	8,847,798	
支出合計	18,601,089	20,627,798	24



今後数年間における支出見込

科 目	予 算 額	備 考
1. 会誌発行費 5回	4,300,000	ページ数は増える
2. 大会事業費	3,200,000	収入とバランス
3. 表彰費	150,000	
4. JAMIT FRONIER補助	100,000	
5. 研究会補助費	100,000	
6. 教育事業費	0	
7. 会議費	100,000	
8. 旅費交通費	800,000	
9. 広報関係費	388,800	
10. 事務局費	1,080,000	新事務局
11. 備品・消耗品	10,000	
12. 印刷費	70,000	
13. 通信費	110,000	
14. 雑費	50,000	
当期支出合計	10,458,800	
当期収支差額	31,200	
支出合計	10,490,000	

現状の学会活動継続の為、
1,000万円超の支出水準
を維持したい。

26

会費の値上げ案

会員の皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

科 目	人数	予 算 額	備 考
1. 正会員費	360人	2,900,000	@1000x20 入会金
会費値上げ		4,000円	@12000x360 正会員:360
1,440,000			
2. 学生会員費	90人	270,000	@4000x90 学生会員:90
会費値上げ		1,000円	
90,000			
3. 賛助会員費		1,440,000	@80,000x18口
4. 図書会員費	17口	300,000	@10,000x4口 @20,000x13口
5. 会誌広告料		0	
6. 会誌別刷代		700,000	減少リスク
7. 大会事業収入		3,200,000	支出とバランス
8. 教育事業収入		0	
9. ハンドブック販売収入		0	
10. CAD DB		100,000	
11. 雑収入		50,000	
当期収入合計 (A)		10,490,000	
収 入 合 計 (B)		10,490,000	

将来、会員数減の可能性
のなか、現状の学会活動
継続の為、1,000万円超
の支出水準を維持したい。

27

会費の値上げ案

会員の皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

会費値上げ提案に伴い、以下の規程の修正を提案します。

会費、会員管理に関する規程

第1条 会費

年度(1年間)は、4月1日より翌年3月31日とし、会費は前納とする。
本学会の年会費は以下のとおりとする。

正 会 員 12,000円

学 生 会 員 4,000円

賛助会員 1口 80,000円 (1口以上)

図書会員 A会員: 20,000円(オンデマンドプリント冊子 + 大会抄録CD-R)

図書会員 B会員: 10,000円(CD-R + 大会抄録CD-R)

賛助会員1口には正会員1名分(記名式)の年会費を含むものとする。

28



2015年度 役員人事関係一覧 (2015年7月31日)

1/4

■ 退任

副会長 :	長谷川純一	中京大学
常任幹事 :	工藤 博幸	筑波大学
	福田 国彦	東京慈恵会医科大学
幹事 :	中田 典生	東京慈恵会医科大学
	花岡 昇平	東京大学

■ 新任

副会長 :	工藤 博幸	筑波大学
常任幹事 :	中田 典生	東京慈恵会医科大学
	花岡 昇平	東京大学
幹事 :	長谷川純一	中京大学
	畑中 裕司	滋賀県立大学
	福田 国彦	東京慈恵会医科大学

29



2015年度 役員人事関係一覧 (2015年7月31日)

2/4

■ 新役員体制

会長 :	縄野 繁	国際医療福祉大学
副会長 :	工藤 博幸	筑波大学
	羽石 秀昭	千葉大学
	細羽 実	京都医療科学大学
常任幹事 :	小尾 高史	東京工業大学
	佐藤 嘉伸	奈良先端科学技術大学院大学
	清水 昭伸	東京農工大学
	東木 裕介	東芝メディカルシステムズ
	中田 典生	東京慈恵会医科大学
	原 武史	岐阜大学
	原口 剛	コニカミルタ
	花岡 昇平	東京大学
	山谷 泰賢	放射線医学総合研究所
	湯浅 哲也	山形大学

注: 青字は再任

30



2015年度 役員人事関係一覧 (2015年7月31日)

3/4

■ 新役員体制 (続き)

幹事 :	安藤 裕	放医研 重粒子医科学センター病院
	井桁 嘉一	日立メディコ
	伊藤 俊英	シーメンス・ジャパン
	稲邑 清也	大阪大学
	上村 幸司	香川大学
	大松 広伸	国立がん研究センター東病院
	大山 永昭	東京工業大学
	小笠原克彦	北海道大学
	岡田 知久	京都大学
	尾川 浩一	法政大学
	掛川 誠	浜松ホトニクス
	勝俣健一郎	国際医療福祉大学
	北坂 孝幸	愛知工業大学
	木戸 尚治	山口大学
	黒木 嘉典	亀田京橋クリニック放射線科
	真田 茂	金沢大学
	篠川 毅	島津製作所
	杉本 直三	京都大学

注: 青字は再任

31



2015年度 役員人事関係一覧 (2015年7月31日)

4/4

■ 新役員体制 (続き)

幹事 :	滝沢 穂高	筑波大学
	武田 徹	北里大学
	陳 延偉	立命館大学
	塚本 信宏	さいたま赤十字病院
	土居 篤博	富士フィルム
	仁木 登	徳島大学
	長谷川 純一	中京大学
	畑中 裕司	滋賀県立大学
	速水 昭雄	亀田総合病院
	平野 靖	山口大学
	福田 国彦	東京慈恵会医科大学
	藤田 広志	岐阜大学
	増谷 佳孝	広島市立大学院大学
	目加田慶人	中京大学
	森 健策	名古屋大学
	森 雅樹	札幌厚生病院
監事 :	石垣 武男	名古屋城北放射線科クリニック
	今村 裕之	キヤノン

注: 青字は再任

32



JAMIT定款附則の変更について

背景：

4月よりJAMIT事務局を(有)クワンタムから(株)メイプロジェクトに移設した。それに伴い、定款附則にある事務連絡先を変更する。

旧附則：

本学会の事務連絡先を東京都文京区本郷6-2-9 モンテベルデ第2東大前504 (有)クワンタム内におく。
本定款は2008年8月6日から施行する。

新附則：

本学会の事務連絡先を東京都中央区日本橋小網町2-1 305号室(株)メイプロジェクト内におく。
本定款は2015年4月1日から施行する。

33



寄附金規程の制定について

背景：

この度、会員より寄附金の申し出があったため、寄付者の希望を尊重しかつ適正な受入れおよび支出を期する為、本規程を制定したい。

第1条（目的）

本規程は、本学会が寄附者から金銭その他の財産（以下「寄附金等」という。）の給付を受ける場合の取扱いについて定め、寄附金等の適正な管理を行うことを目的とする。

第2条（使途）

寄附者から使途の指定があったときは、指定に従って使用しなければならない。寄附者が使途を指定しないときには、定款第2章第3条の目的に使用するものとし使途を定める。

第3条（寄付申入れ内容）

寄附の申入れがあった場合には、次の事項を確認する。

- (1) 寄附者の住所・氏名
- (2) 寄附金の額もしくは寄附物品等の量、種類
- (3) 寄附金の使途の指定有無

34



寄附金規程の制定について

第4条（承認および報告）

寄附の申入れがあった場合には、常任幹事に諮り、受入の可否、使途を含めて承認を得なければならない。承認後に、寄附者へ書面を持って受入れ回答を通知する。また承認内容は幹事会および総会で報告する。

第5条（取扱手続）

寄附金等を受領したときは、寄附者に対して受領書を発行しなければならない。本学会として寄附者に対し、適宜な方法により感謝の意思表示を行うものとする。寄附金等を受領した後、適切な時期に本学会ホームページ上にて、寄附者の氏名及び寄附の内容等を公表するものとする。ただし、寄附者が匿名を希望する場合は、その意思に従う。

附 則

1. この規程に定めるもののほか、この規程の実施に関し必要な事項があるときは、常任幹事会の議決を得て、別に定めるものとする
2. 本規程は常任幹事会の議決により改定することができる

制定日

2015年4月1日（注：年度初日に遡る）

35



第33回大会「大会奨励賞」受賞者報告

2014年9月メルマガおよびホームページで発表済み／10月賞状・副賞送付

演題番号	発表者・所属・タイトル
OP1-6	渡辺 宝 北里大学医療衛生学部医療工学科 コンプトンカメラ法による360°パパラMRIイメージングモニターの開発
OP4-2	森 悠一 昭和大学横浜市北部病院消化器センター 大腸Endoscopyによるコンピュータ自動診断システム
OP5-1	二村 幸孝 名古屋大学情報連携統括本部 逐次構造学習を利用した医用画像からの臓器抽出における学習パラメータに関する調査
OP5-5	唐澤 健一 名古屋大学大学院情報科学研究科 個別尤度マップを用いた3次元腹部CT像からの臓器領域セグメンテーション手法に関する研究
OP6-3	高野 裕也 千葉大学大学院工学研究科 カテーテル留置直後の血管造影像と術中透視像の呼吸位相マッチングによる呼吸同期ロードマップの生成
PP18	徳元 祥貴 徳島大学大学院先端技術科学教育部 3次元CT画像を用いた肺血栓塞栓症の検出法
PP30	中村 友香 千葉大学大学院工学研究科 脳腫瘍組織のモザイク間比較のための光学像とMR画像の位置合わせ

36



2014年度「MIT誌」論文賞授賞者(1)

『腹腔鏡下手術用超音波プローブの屈曲角検出を用いた内視鏡像への超音波画像重畳システム』

(Vol.32, No.3, pp.203-211, 2014)

小熊 諒, 中口 俊哉, 中村 亮一, 山口 匡, 川平 洋, 羽石 秀昭
(千葉大学)

概要：腹腔鏡下手術では、術中に血管や病変部など臓器内部の情報を取得するため、ポートから挿入可能な超音波プローブが使用される。しかし、別々のモニタに表示された腹腔鏡画像と超音波画像を同時に確認しなければならず、実空間と超音波画像の対応付けが困難である。そこで腹腔鏡画像に超音波画像をリアルタイムに重畳し、1画面の観察で画像間の対応付けを直感的に行うことが可能となるシステムを構築した。プローブ先端部は屈曲自由度を有しているため、腹腔鏡画像から屈曲角を検出する手法を用いて、腹腔鏡に対する先端部の位置姿勢情報を取得した。銅線を張ったファントムを用いたシステムの評価実験の結果、超音波画像の重畳位置精度は平均6.9 pixelとなった。また腹腔鏡下で行った動物実験では、プローブ先端部の屈曲角検出率は83.1%という結果を得た。

37



2014年度「MIT誌」論文賞授賞者(2)

『遠隔読影環境における多施設連携型CAD開発、実運用、および継続的性能改善』

(Vol.32, No.2, pp.98-108, 2014)

野村 行弘, 増谷 佳孝, 三木 聡一郎, 花岡 昇平, 根本 充貴,
吉川 健啓, 林 直人, 大友 邦 (東京大学, 広島市立大学)

概要：CADの性能は機械学習によるところが大きく、開発用データセットと実運用時のデータの画質が異なる場合、通常は期待される性能が得られない。このため、使用施設のデータを継続的に収集して再学習を行うことでCADの性能改善が期待される。本論文では、遠隔読影環境での多施設連携によるCAD開発、実運用、および継続的性能改善について報告する。われわれが開発した統合的CAD実行/評価環境 (CIRCUS CS) を遠隔読影環境へ導入するためにシステムの機能追加を行った。2011年9月より東大病院の初期開発用データセットで学習した2種類のCAD (肺結節検出, 脳動脈瘤検出) を遠隔読影環境下で使用し、評価 (フィードバック) データの収集を行った。収集したデータを用いた再学習のシミュレーションにより、施設ごとのCAD性能が改善されることを確認した。このことにより、画質の多様性に対応したCAD開発/臨床使用の促進が期待される。

38



田中栄一賞の設置について

背景：

この度、名誉会員である浜松ホトニクスの中中栄一先生から100万円寄附の申し出があり、JAMITとして「田中栄一賞」の設置を田中先生に提案し、了承されました。

用途：

MIT誌最優秀論文賞の方に副賞として10万円、延べ10人に授与する。

謝意：

田中先生のご厚情に対し、感謝の意を表したいと思います。

39

次回の大会のお知らせ
第35回日本医用画像工学会大会
(JAMIT2016)

大会長：羽石 秀昭 (千葉大学)
会期：2016年7月21日 (木) - 7月23日 (土)
会場：千葉大学西千葉キャンパス